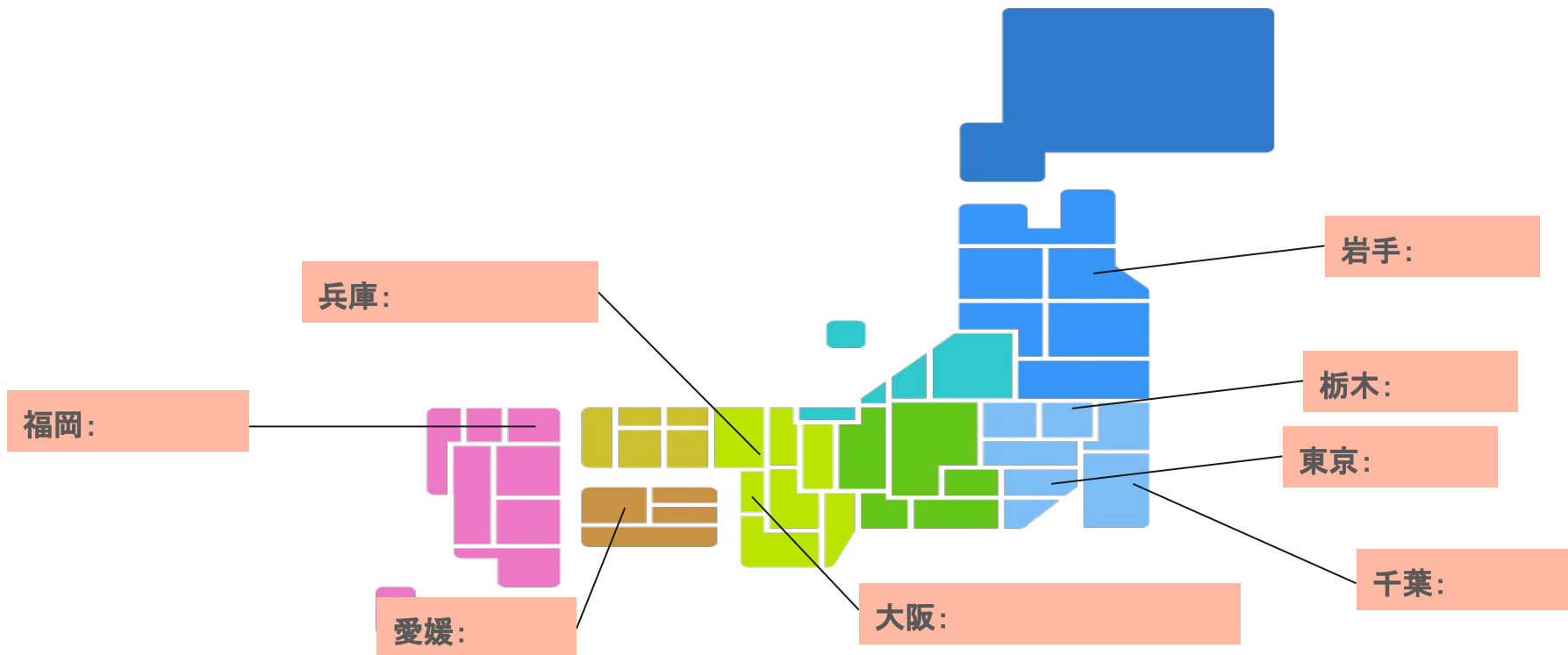




BCP(事業継続計画)について

事業継続力強化計画 ～災害などの万が一の場合にどうあるべきか～

人員マップ 2024.01現在



考えられる災害について

	災害の種類	被害の特徴
自然災害	1.地震	建物の倒壊、家具の転倒による圧死やケガ、ライフラインの寸断などの被害。余震もある。
	2.洪水	台風や集中豪雨による河川の氾濫、浸水などの被害。日本では夏場を中心に数多く発生する。
	3.土砂崩れ	局地的だが建物や橋の倒壊などの被害。地震や豪雨が引き金で二次災害として発災することもある。
	4.大雪	山では雪崩、集落では孤立状態になることもある。雪下ろし、雪かき中の事故も多い。
	5.津波	沿岸部で広範囲な被害。波にのみ込まれたことによる溺死や町にヘドロが打ち上げられるなどの被害。
	6.伝染病	コロナや各種疫病による非接触社会へ。病院治療が受けられないなどの危険性がある
人的災害	7.交通インフラのダウン	発生率は低いが、一度起これば死傷者が発生したり、交通インフラに大きな影響を及ぼしたりする。
	8.原発事故	放射線による人体への影響のほか、長期の避難生活や地域の分断とといった社会的影響も大きい。
	9.テロ・戦争	兵士だけでなく民間人の被害が出ることもある。難民・避難民への人道支援が必要になる。
	10.大規模停電	長期の避難生活や地域の分断とといった社会的影響も大きい。

連絡先情報の共有

自分の携帯への登録をお願いします。

会社の電話番号・・・

会社のメアド・・・

上長の電話番号・・・

上長のメアド・・・

災害が起こったら

①自分や家族の安全が最優先・・・まず避難してください

自分の身を守る事にまず集中してください

②安否の確認連絡

軽い災害であっても安否は入れるようにしてください

→「これぐらいやったら報告しなくても良いだろう」→これダメ

- 1.チャットに入れる 「×××」グループ
- 2.無理なら電話へ → 出れなかったら留守電へ

災害が起こったら

③被害状況の全体把握

被害が大きい場合、専用チャットを立ち上げる

対象者

PC使用状況

電気状況

通信状況

各種クラウドサービスへの影響

各パートナー様への影響

※被災者への連絡は必ず一本化すること

災害が起こったら

④顧客への連絡

取引顧客への連絡

- ・エムダブの状況を伝える
- ・お客様への連絡手段(メール・TEL)
- ・更新等の依頼について フローを明記する

- A.おそらくお互い困っている状況である事を理解する**
- B.お客様の情報インフラとして大切な存在を扱う**
- C.迅速さ対応が求められる**

災害が起こったら

⑤協力業者への連絡

取引顧客への連絡

- ・自社の状況を伝える
- ・手伝ってほしい事を明確に伝える
- ・更新等の依頼について フローを明記する

A.おそらくお互い困っている状況である事を理解する

B.迅速さ対応が求められる

会社の基本姿勢

- 1.判断がつかないケースでは「自分の良心」で判断する
- 2.災害時は「お互い様」という精神が大切
- 3.更新の対応はできることを全部やってあげる
- 4.お金の事は後回しにしてOKです。落ち着いてから話します
- 5.新規制作はストップさせてもOK。落ち着いてから話します